

No.	異常現象の種類	年	月	日	都道府県名	人的被害状況	事故概要
143	漏えい	1	7	1	神奈川県	なし	電気分解廃液装置の廃タンク(3kL)から次亜塩素酸及び水酸化ナトリウムの混合液(濃度が低いため毒劇物非該当)が約5リットルオーバーフローした。ガス検知器で測定するも異常なし。7月1日9:05漏洩停止。同日9:16処置完了。
145	漏えい	1	7	1	広島県	なし	鉄架構造の製造所2FLのスイングベルトフランジ部の締め付け不良により1.4BG及び酢酸、酢酸イソブチルの混合液が66L漏えい。本漏えい物質は施設側溝に溜まっており、施設外への流出はなし。
146	火災	1	7	2	愛知県	なし	溶鋼の精製処理中に突沸し周辺に飛散。火災発生。一部操作室の操作盤及び一部ケーブルの破損。同日2:52に鎮火確認
147	火災	1	7	2	兵庫県	なし	コンテナクレーン車の作動油が約10L漏えい
149	漏えい	1	7	4	和歌山県	なし	芳香族製造装置の流量コントロールバルブからベンゼン、トルエン、スルホラン溶剤が滴下、漏えい。7月4日16時45分装置停止。テーピングにより処置し17時12分漏えい停止。
150	火災	1	7	5	大分県	なし	事務所内で、テーブルタップ付近のキャップランプライต์等の電子機器が焼損した。
151	漏えい	1	7	7	千葉県	なし	排水溝から海上へ油が漏洩したもの。
152	漏えい	1	7	9	千葉県	負傷者1名	重油脱硫設備において通常運転中に硫化水素が噴出漏洩したもの。当時配管保温材の被覆工事を行っていた作業員が、避難する際に負傷した。
153	漏えい	1	7	11	和歌山県	なし	棧橋にて船舶から濃硫酸荷揚げ中に受入配管のピンホールから漏えい(10L程度と推定)。船舶上に漏えいし海洋への流出はない(目視確認)。
154	漏えい	1	7	12	神奈川県	なし	配管のフランジ部から苛性ソーダが流出したもの。漏えい量にあつては約5.5リットル。バルブを閉鎖し、配管内に残った苛性ソーダは回収済。漏えい拡大の危険なし。
155	漏えい	1	7	15	宮城県	なし	製油所構内において、塩酸計量槽の液面計の下のノズルの付け根から、濃度35%の塩酸が漏えいし、防液堤に溜まった(漏えい量は調査中)。漏えいは3:06に停止しており、防液堤に溜まった塩酸を水で希釈作業した(希釈した後中和槽に流送し、現在、中和処理している)。希釈作業は終わっており、中和処理は午前中一杯かかる見通し。
156	漏えい	1	7	16	神奈川県	なし	タンクヤード内の移送取扱所(取扱量:原油432,000KL)の埋設配管から原油が約100リットル漏洩したもの。
157	漏えい	1	7	17	三重県	なし	樹脂製造プラントで爆発事故。延焼危険なし。県からの聞き取りによると樹脂をためる中間ホッパーで粉じん爆発があったものと推測。ポリアセタール樹脂製造施設の中間ホッパーで爆発。周囲の壁体が破損。本日18:00 ホッパー内に火災確認。放水開始18:11 鎮火
158	火災	1	7	19	千葉県	なし	製鋼屋外設備の2次トーチから出火したもの。すでに消火済み。
159	漏えい	1	7	24	広島県	中等症1名	ドラムローリー充填場:20Lペール缶に製品(危険物:トリエチルアミン)を充填中、安全装置が何らかの原因により作動せず、オーバーフローしたものの漏えい量11L。外部への漏えいなし。
160	火災	1	7	24	香川県	なし	コークス炉の燃焼がら、ゴミ等の運搬用ベルトコンベアが燃焼しているのを発見。ただちに近くの湿潤用の水道を使用し消火した。なお、ベルトコンベアは燃え尽きて一部のみ残っている状態。
161	火災	1	7	25	兵庫県	なし	屋外のケーブルが燃焼中。負傷者無し
162	漏えい	1	7	26	山口県	なし	減圧留出油脱硫装置からクリップが漏えい。巡回点検中の作業員が配管ドレンから漏えいを発見。バルブを閉め、漏えいは停止。漏えいは、施設内に留まり、周囲への影響なし。漏えい箇所の真下にオイリービットがあったことから、漏えい物の多くは廃液系統に流れた。
163	漏えい	1	7	26	神奈川県	なし	染料原料(4-ニトロフェニルアミン:危険物)が貯蔵されていたドラム缶の蓋が吹き飛び、当該物質が飛散したもの。同日14:15処理完了。
164	火災	1	7	30	千葉県	なし	敷地内でユンボ(重機:建設機械)が燃えた。消火水及び消火器で消火済み。

No.	異常現象の種類	年	月	日	都道府県名	人的被害状況	事故概要
165	漏えい	1	7	30	宮城県	なし	所内巡視中の社員が、11時10分頃、地区Tタンクの重油揚げ配管から、重油が防油堤内に漏えいしているのを発見。その後、①防油堤内に漏えいした重油の回収作業を開始するとともに(漏えい量は約10L)、②重油揚げ配管内に溜まっている重油の回収作業も開始した。本日17時10分現在、①の防油堤内の重油回収作業は終了し、②の配管内の重油の回収作業はあと5時間程度を要するため、本日の回収作業は18時30分で終了し、明日8時から再開する。
166	漏えい	1	7	30	山口県	なし	巡回中に作業員が20号タンク(容量200kL)の底板部からルーカントがしみ出ているのを発見。漏えいしたルーカントは吸着マットで回収済(約1.4L)当該タンクの受け入れ側の縁切りを行い、残液(約180kL)は他タンクへ移送中。(ルーカントは粘度が高く移送完了に3日程度要す見込み)今後、漏えいが拡大する可能性は低いと現地消防から報告あり、自衛防災組織の監視下で移送作業を継続中。なお、施設外への漏えいも無く、負傷者もなし。
167	漏えい	1	8	4	神奈川県	なし	仕上工場の油圧発生装置配管のナットが緩んだ原因で、潤滑油(作動油)約100リットルが漏洩したもの。(現在は止まっています)
168	漏えい	1	8	2	大阪府	なし	純水装置pH調整用硫酸タンクから硫酸800L漏洩。防油堤内から外部への流出はなく、全量回収し、中和処理に送り処理済み。
169	火災	1	8	6	香川県	なし	分電盤から発火。直ちに消火したが分電盤の一部を焼損。
170	火災	1	8	9	大分県	なし	N1プラントの配管のフランジ部から水素ガスが漏えいし、何らかの原因で着火。
171	火災	1	8	9	北海道	なし	工場CVTミッション組付けライン内のデフケースに印字する設備(ZY-957)に付随する集じん機から煙が発生しているのを作業員が確認。ZY-957に接続されている集じんホースを外し、設備内を確認したところ、配線部分が赤熱しているのを発見し消火器にて消火。公設消防の出動有り。
172	漏えい	1	8	13	宮城県	なし	社員が装置スタートアップ作業中に、地区にある灯油脱硫装置高圧油水分離槽I-LCバイパス弁グランドから危険物(第4類第2石油類・灯油)が漏えいしているのを発見。直ちに装置の停止操作を行い消防局へ通報した。灯油の漏えいは3時35分に停止した。漏洩箇所はバルブグランド(フランジ式継手)であり、漏えいした灯油は推定2.5Lで、既に回収済み。
173	漏えい	1	8	13	千葉県	なし	BRプラント付帯の配管(防油堤内)のフランジ部分から、潤滑油が約100リットルが漏洩したもの。漏洩した潤滑油はドラム缶に回収した。
174	漏えい	1	8	15	神奈川県	なし	屋外タンク貯蔵所No. 901タンク(容量11,284KL、フローティングルーフ)の雨水浸入防止シール付近から重油が漏洩したもの。海上への流出なし。なお、残油(8/16 10:00現在、約4000KL)をNo. 918タンク(容量33,462KL)にシフト中。
175	火災	1	8	15	千葉県	なし	発電所2階ケーブルラック内に収束されたケーブルから出火し、ケーブルが焼損したもの。8月16日(金)1:55鎮火。
176	漏えい	1	8	19	鹿児島県	なし	荷役中のタンカー内の配管から原油が漏えいし、降雨により海上に流出。荷役中は常時オイルフェンスを敷設しているため、オイルフェンス内にとどまっており、海域への流出はない。事業所及び海上保安庁がオイルマット、油処理剤により対応。本日中に対応終了する見込み
177	漏えい	1	8	23	千葉県	なし	塩酸が50リットル漏洩したもの。防油堤内に漏洩継続中。
178	火災	1	8	23	北海道	なし	水素製造装置中間工程である加熱炉の吸気口から0.5mから1mの炎が噴出。装置緊急停止後1~2分で炎は消えた。公設消防の出動有り。
179	火災	1	8	23	兵庫県	軽傷1名	樹脂製造施設(樹脂を混ぜ合わせてペレット状にする設備)において、火災により作業員1名が顔面にII度の熱傷を負った。粉塵爆発の疑い有り。
180	漏えい	1	8	28	山口県	なし	屋外貯蔵タンクから3号棧橋で船舶に荷役作業中に、船舶のハッチからA重油がオーバーフローしたもの。A重油は甲板及び海上(少量)へ漏えい。甲板はドラム缶(3缶)に回収を行ったのち、吸着マットでふき取り実施。海上にはオイルフェンスを張り、処理方法を海上保安庁と協議中。
181	火災	1	8	28	山口県	軽傷1名	金属製ドラム缶を酢酸エチルで洗浄(共洗い)中、何らかの原因でドラム缶内から出火。作業員1名が両手背部に火傷を負った。消火器1本で消化済。
182	漏洩	1	9	6	千葉県	なし	屋外タンク貯蔵所付帯のミストセパレータの圧力計配管から、ナフサが若干量漏洩したもの。(気化したため正確な漏洩量は測定不能)同日12:55漏洩箇所の応急措置完了。消防隊は引き上げた。
183	漏洩	1	9	6	茨城県	なし	構内において、重油受け入れ配管から重油が漏洩したもの。詳細・漏洩量にあつては調査中。
184	漏洩	1	9	9	神奈川県	なし	製油所棧橋付近の海上に油膜を確認。防災船により拡散作業を実施。同日8:25防災船による海上確認において油膜の確認はできず。(8:25処理完了)
185	漏洩	1	9	6	福岡県	中等症2名	フェノールを移動タンクに充てん後、ポンプを停止し送液を停止したはずが、配管バルブ閉め忘れ、その後の配管内からフェノールを空にするため窒素を送気した際配管から約40gのフェノールは噴出し、これが強風により飛散。これにより、現場付近(約5mの距離)で作業中の塗装作業員2人が負傷。
186	漏洩	1	9	9	千葉県	なし	屋内貯蔵所のシャッターが台風により破壊され、倉庫内の製品缶から潤滑油が漏洩したもの。漏洩量は約400リットル。海上流出無し。

No.	異常現象の種類	年	月	日	都道府県名	人的被害状況	事故概要
187	火災	1	9	7	千葉県	なし	作業シートが燃えた。消火済み。
188	漏洩	1	9	9	千葉県	なし	野外危険物ヤード内において、台風の影響により試験用変圧器の分圧器(トランス)が落下し、内部の絶縁油約100リットル(液体危険物PCBを含む可能性あり(分析中))が漏洩、排水溝まで流れたもの。海上への流出は無し。
189	漏洩	1	9	10	茨城県	なし	構内において低温タンク(TK-856)からプロパンガスが漏えいしたもの。詳細、原因にあつては調査中。
190	その他(倒壊)	1	9	9	茨城県	なし	製鋼工場屋外にある転炉の燃焼放散塔(75m)が倒壊した。燃焼放散塔の上部50mが倒壊し、集塵配管と転炉ガス配管を破損させた。発生当時は台風対策により、転炉は稼働しておらずガスの漏えいはなかった。
191	漏洩	1	9	10	千葉県	なし	棧橋上、船から海上へ軽油が漏えい中。現時点で軽油300Lが漏えい。内訳は、船デッキ上へ100L、海上へ200L漏えい。船のデッキ上への漏えいについては、吸着マットにて回収済み。海上への漏えいについてはオイルフェンスにて対処中。
192	漏洩	1	9	11	千葉県	なし	ブタジエンの抽出装置の6インチ配管からの漏えい。
193	火災	1	9	9	千葉県	なし	台風に伴う施設の雨漏りによって、タービン主油タンクの2階制御室に設置された計装機器のリレー配線がスパークしたものの。9月9日9:10初期消火済み。
194	漏洩	1	9	12	千葉県	なし	台風15号の風により、タンク付属の可動梯子が脱輪し、損傷したもの。9月12日17:15に可動梯子の固定が完了。今後は破損した可動梯子を浮き屋根上に下ろし、タンクの残液を移送し、新しい可動梯子を設置する予定。また、消防機関からの報告が9月13日であったため、報告が遅れたもの。
195	漏洩	1	9	16	神奈川県	なし	鉄鉱石を運ぶ機械から水漏れ。
196	漏洩	1	9	15	和歌山県	なし	タンク(原油タンク)へ送る配管の付属ポンプが破損し原油が漏洩(漏洩量不明)。配管の縁切りを行い、15:55に廃油処理を終了した。外部への流出はない。
197	火災	1	9	17	大分県	なし	ポリプロピレン製造施設内でタンク移送中のトリメチルアルミニウムが漏えいし火災となった。
198	漏洩	1	9	9	和歌山県	なし	接触改質装置にて触媒再生作業を実施中、C-451にて系内ガスサーキュレーションで運転中、C-451出口配管の温度計にて窒素ガスが漏洩。
199	漏洩	1	9	19	千葉県	3名軽症	低食塩次亜硫酸プラントの分離機から塩素ガスが漏洩したもの。発災プラントは停止済み。
200	火災	1	9	18	千葉県	1名軽傷	発災時運転休止中であったTCプラント成型工場12号機で、ダイスの交換作業中に、樹脂が飛散し、火災となったもの。同日10:10鎮火。
201	火災	1	9	24	三重県	なし	製造所(エーテルプラント)建設現場において、2階床面溶接作業中、1階に置かれていた機器(計量器)の養生材から出火し、従業員が消火器により直ちに消し止めたもの。
202	火災	1	9	24	神奈川県	なし	避雷器実験室内のコンデンサーの一部配線及び摺動電圧調整器配線の一部焼損。
203	漏洩	1	9	26	愛知県	なし	一般取扱所において、危険物第4類第3石油類をローリーに積み込み作業中、オーバーフローさせ約400Lが漏えい。
204	漏えい	1	9	29	香川県	なし	配管にピンホール様の穴が発生し配管を通っていた洗浄油(危険物4類、第3石油類)の噴霧を発見。直ちにバルブ閉止により漏えいは停止した。漏洩量は不明(大量ではない模様)
205	火災	1	9	30	三重県	なし	仮設照明用の電気ケーブルが焼損。
214	漏えい	1	9	21	和歌山県	なし	9月21日に指定可燃性タンクのブリーダーを閉め忘れピット内に可燃性液体(潤滑油)約10kL漏洩。9月26日16時45分漏洩した可燃性液体は回収済み。10月10日(木)に消防に事後通報があったもの。